

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

山形県東置賜郡高島町立和田小学校

○学校の概要（平成15年4月現在）

高島町立和田小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	12
児童数	34	23	31	33	37	32	1	191	

1 本校で当初抱えていた「総合的な学習の時間」の課題

和田地区は、有機農業の先進地で、食の安全性に早くから目を向けてきた。また、「和田小学校自給野菜組合」があり、地元産の野菜を学校給食に40年近く提供し続けている。

本校では、こうした地域性を生かし、生きる力を育むために、学校農園を拠点とした食農教育、コンポストの活用やカーポットの飼育と観察などの環境に目を向けた学習に取り組んでいる。

研究指定を受け、高島町で取り組もうとしている「環境」の視点を大切にしながら、これまで行ってきた活動内容や全体計画を十分に検討し、「総合的な学習」を通して育てたい力を明確にするという課題が浮き彫りになった。

2 モデル地域としての研究主題の受けとめと目標設定

(1) 校区連携について

ここ三中校区では、校区懇談会、「ゆうきの里まつり」への参加、校区一斉ボランティア活動、小中学生合同の育成会議、あいさつ運動、「わかたけ運動」など、地域と一体になった教育活動を幅広く展開してきた。これらの活動をさらに推進していくと同時に、9年間を見通して活動内容を再検討し、「総合的な学習」を通して育てたい力を明らかにする必要がある。

(2) 外部講師について

各学年の保護者や祖父母からなる「農業委員」や「上和田有機米生産組合」「和田地区老人クラブ」の方々の協力や指導を得ながら、体験活動を展開してきた。

今後とも支援体制を維持しながら、その内容や方法をさらに検討していく。

3 平成15年度の取り組み内容、成果と課題

(1) 取り組み内容

○14年度、15年度の実践の分析と全体計画の作成

○6年間を見通し、体験活動を大切に単元構成

(2) 成果

○実践の分析と全体計画の作成

・実施時数や学習内容、領域を細かく分析することにより、改善の視点が明らかになり、全体計画の作成に生かすことができた。

○体験活動を大切に単元構成

・子どもたちは、汗を流して働くことのすばらしさや成長と収穫の喜びを感じながら、食農体験学習に意欲的に取り組んでいる。地域の方々から、栽培の知恵や技と食のあり方について学ぶことができて、子どもたちの食と農に関する興味や関心が高まっている。

・「環境集会」では、各学年の発達段階に応じて学習したことを発表した。また、児童会事務局と学年代表の児童が作成した原案をもとに話し合っ「地球環境にやさしい学校づくり宣言」を行った。

(3) 課題

○実践をもとにした全体計画の見直し（学習活動の系統性とつながり）

○子どもの興味、関心を大切に単元構成と知的学習の充実

○環境学習の日常化

4 平成16年度の取り組みの見通し

○「新・和田小プラン（平成16年度の全体計画）」の実施と実践の積み上げ

○単元構成の工夫と授業の改善（課題を持ち、意欲的に追究できる学習の展開）

○「地球環境にやさしい学校づくり宣言」実践交流会（環境学習の実践と交流）

○食農教育検討委員会の設置（各学年の学習状況の確認と支援）

○地域の人々の協力体制の拡充（中学校との連携）

総合的な学習の時間の全体計画

高島町立和田小学校

学校教育目標

健康でがまん強い子ども《体力・気力・忍耐力》
よく考え進んで学習する子ども《思考力・判断力・表現力》
仲良く助け合い喜んで働く子ども《やさしさ・思いやり・協働》

総合的な学習の時間に育てたい力

- ・興味や関心を持ち、問題に気づく力
- ・課題を見つけ、解決に向けて追究する力
- ・課題を解決するために必要な情報を集めて活用する力
- ・発見したことや調べたことをわかりやすく伝える力
- ・自分で考え、決めたことを行動する力

高島町環境学習

- ・体験を通して町の自然や生活環境に目を向け、課題意識を持たせる。
- ・環境にやさしいライフスタイルを実践する態度を養う。

総合的な学習の時間の目標

中 学 年	高 学 年
1 日常生活や体験活動から多くのことを発見し疑問を持つことができる。 (問題発見力)	1 地域の人、自然、社会や体験活動から多くのことを発見し、疑問を持つことができる。 (問題発見力)
2 課題を選んで、自分なりのこだわりを持って調べることができる。 (課題設定・追究力)	2 価値のある課題を選んで、解決の見通しを持って、自分なりの方法で調べることができる。 (課題設定・追究力)
3 集めた情報から必要なものを選んで、課題の解決に役立てることができる。 (情報収集・活用力)	3 進んで必要な情報を集め、課題の解決に役立つ内容を選んで活用することができる。 (情報収集・活用力)
4 よく話を聞き、自分の思いをわかりやすく伝えることができる。 (コミュニケーション力)	4 内容を考えて話を聞き、自分の思いをわかりやすくまとめて伝えることができる。 (コミュニケーション力)
5 学んだことを、自分の生活に生かして、実践することができる。 (実践力)	5 学んだことを、自分の生活や地域社会に生かして、実践することができる。 (実践力)

小中（高）連携の具体的視点

- ・9年間を見通し、系統性を考えた学習内容
- ・授業実践交流と授業研究会の実施
- ・児童生徒理解に基づく継続的な指導・支援
- ・地域の人々の協力体制の拡充